

**INAXライブミュージアム企画展
「水を見る—秘めたるかたちと無限のちから—」****Seeing Water—Surprising Shapes, Unlimited Power****【会期】2019年4月26日(金)～2019年9月24日(火)****【会場】INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室**

INAX MUSEUMS

株式会社 LIXIL が運営する、土とやきものの魅力を伝える文化施設「INAX ライブミュージアム」(所在地:愛知県常滑市)では、2019年4月26日から2019年9月24日まで、企画展「水を見る—秘めたるかたちと無限のちから—」を開催します。



写真: 大川裕弘

水は、私たちが生き、生活を豊かに送る上で欠かせないものです。生命を育むとともに、暮らしの中では、料理に使う、さまざまなものを洗う、流すなど、じつに多くの場面で水に触れています。しかし、その存在が当たり前であるがゆえに、断水や災害に直面してはじめて水の大切さを思い出します。

一方で、人々は古くから、水が絶え間なく変化する姿に魅了されてきました。水の姿を見事に描いた作品も名画として多く残されています。音をたてて小川が流れる様を見るとき、水車や噴水から落ちる先を目で追うとき、私たちは、水の「かたち」や「ちから」、その美しさや音に魅せられ、感動を覚えることがあります。普段の暮らしや近所の公園で目にしている水も、少し見方を変えるだけで、その姿に心が動きます。

本展では、水がふとした瞬間に見せる「かたち」と「ちから」に焦点をあて、その姿の成り立ちを紐解いていきます。また、「水を見る」展示装置の体験を通して、水の流れ、滴、波、渦などの美しさに触れ、楽しく感じるためのヒントをご紹介します。いつも目にしている「水」を新しい視点で見ることで、私たちの身の回りに溢れる水のふしぎな魅力を捉えなおす機会となれば幸いです。

本件に関するお問い合わせ先株式会社 LIXIL (<http://www.lixil.co.jp/>)

本社: 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 36 階

INAX ライブミュージアム: 愛知県常滑市奥栄町 1-130

担当: 水野、竹内 TEL. 0569 - 36 - 0206

※INAXライブミュージアムは株式会社LIXILが運営する文化施設です。

※このリリースは LIXIL ホームページ (URL: <http://www.lixil.co.jp/>) でも発表しています。

※報道関係者の方々に取材いただきたく、ご検討をお願いします。ご取材いただける場合は、担当者までご連絡ください。

<参考資料>

開催概要

企画展「水を見る—秘めたるかたちと無限のちから」

Seeing Water—Surprising Shapes, Unlimited Power

【会期】2019年4月26日（金）～2019年9月24日（火）

【会場】INAX ライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室

〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町 1-130

TEL : 0569 - 34 - 8282 FAX : 0569 - 34 - 8283

【休館日】水曜日（祝日の場合は開館）

【観覧料】共通入館料にて観覧可

（一般：600円、高・大学生：400円、小・中学生：200円）

【主催】INAX ライブミュージアム企画委員会

【展示デザイン】西本剛己（ARTLAB+）



写真：大川裕弘

■展示内容

展覧会を通して、水を「かたち」と「ちから」の視点で驚きをもって見るヒントを伝えます。

1. 会場内の数点の展示装置によって、水の流れ、滴、渦、波などさまざまな水の様相を「見る」体験をしていただきます。何気なく見ていた「水」の新たな姿があらわれてきます。
2. 水の流れ、滴、渦、波など、さまざまな水の姿の成り立ちを科学の視点から解説し、水の不思議な特性をご紹介します。
3. ドライミスト、噴水、水車、滝、疎水路、波のトンネルなど、身近にある「水」の美しさの理由と仕組みを紐解き、水の「かたち」と「ちから」を楽しく感じるヒントをご紹介します。



写真：大川裕弘



© 北山 雄司 - stock.adobe.com



写真：村山直章

■関連書籍 「水を見る一秘めたるかたちと無限のちから」
2019年4月26日発刊予定
天地：257mm×左右 182mm／オールカラー本文 40 ページ
無線綴じ
予価：1,200円（税別） 発行：LIXIL 出版
編集制作：坂井編集企画事務所

【図版構成】

■かたちの変化、すがたの理由

小塩哲朗（名古屋市科学館学芸員）

■水の遊び方

間々田和彦（王立ブノンペン大学教育学部客員講師）

■水を見に行く

(1)波のトンネル

(2)ドライミスト

(3)水車

(4)噴水

(5)滝、凍った滝

(6)水道、分水、ダム

■水の日本美術 日本人は水をどう見てきたか

内藤正人（慶應大学文学部教授）

■水の神事・祭り 水に高揚する

新谷尚紀（國學院大学文学部教授）

■INAX ライブミュージアム概要

『INAX ライブミュージアム』

所在地：愛知県常滑市奥栄町 1-130

TEL：0569-34-8282

休館日：水曜日（祝日の場合は開館）、年末年始

共通入館料：一般 600円、高・学生 400円、小中学生 200円

ホームページ：<http://www.livingculture.lixil/ilm/>

LIXIL 文化活動 Facebook：<https://www.facebook.com/LIXIL.culture>



INAX ライブミュージアム
「窯のある広場・資料館」(左)と
「世界のタイル博物館」(右)

やきもの製品のテクノロジー拠点、愛知県常滑市にLIXILが開設する文化施設。

「世界のタイル博物館」「窯のある広場・資料館」「建築陶器のはじまり館」

「土・どろんこ館」「陶楽工房」「ものづくり工房」の6館から成る

“体験・体感型ミュージアム”。土からやきものまで、その歴史や文化、

美しさや楽しさを伝えています。土と陶の魅力に触れる体験教室や企画展、

ワークショップも開催。

※「窯のある広場・資料館」は保全工事のため一時閉館中



LIXILは、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTUREを表現していきます。LIXILは、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。

■LIXILについて

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在70,000人超の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード：5938）は、2018年3月期に1兆6,648億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>